

# 令和3年度事業計画

公益財団法人 滋賀食肉公社

## 1 基本方針

当法人は、「近江牛」をはじめとする県内産牛肉の流通拠点である「滋賀食肉センター（以下「センター」という。）」を整備および管理運営し、安全安心な食肉を安定的に提供することを目的としている。

この目的達成に向け、令和3年度は、前年度に引き続きHACCP（危害分析・重要管理点）方式による衛生管理を推進し、安全安心な食肉を安定的に供給するとともに、生産段階から消費段階までを通した、衛生面等における安全安心な食肉に関する知識の普及啓発に取り組む。

また、施設・設備の長期保全等に向けた調査や平成29年3月に策定した第3次経営健全化計画の見直しを進め、老朽化した施設・設備の計画的な更新・修繕や、更なる業務の効率化と経費削減によって収支両面にわたる経営改善に取り組み、経営の健全化を図る。

## 2 事業計画

### (1) 安全安心な食肉を提供する事業

#### ア 衛生管理を徹底したセンターの設置管理および運営

- ・HACCP方式の衛生管理の基礎となる各種マニュアルに基づき、日々の衛生管理体制を強化するとともに、施設の長寿命化の方針に基づき、優先度に応じて必要な整備改良を実施する。
- ・管理運営会議、業務調整会議、HACCP委員会等の会議を定期的で開催し、センター構成機関と協同して更なる衛生管理体制の強化やセンター全体の効率的な運営に努める。

#### イ 安全安心を届ける普及啓発事業

- ・生産・出荷、と畜解体、販売および消費の各段階に応じた普及啓発の行動計画に基づき、新型コロナウイルス感染症による環境変化に対応しつつ、講習会の開催、出前講座の開催、関係イベントへの参画およびセンター視察の受入等、衛生指導や普及啓発事業を実施する。

### (2) センターの経営健全化対策事業

- ・センター開設以来続いてきた単年度赤字が、平成27年度決算から黒字決算に転じたが、依然として、多額の累積欠損を抱えている。安定的で持続的な運営を行うためには、単年度黒字を継続して計上できる財政基盤を整える必要がある。平成29年3月に策定し、令和元年度に見直しを行った第3次経営健全化計画に基づき、県や畜産農家による近江牛増頭対策がセンターのと畜頭数の増加に結びつくよう努めるとともに、これまでの取組の経過や現状を踏まえ、経営健全化計画の見直しを進める。また、老朽化が進む施設・設備の長期保全や計画的な更新・改修を行うため、現在の施設・設備の状況・課題の調査を実施し、計画的で効率的な設備の更新や適切な保守点検等による施設および設備の長寿命化と中長期的な設備投資の抑制や維持管理費の節減等の取組を進め、経営の健全化に努める。

（令和3年度計画）

牛と畜頭数 9,300頭

# 収 支 予 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1 経常増減の部</b>				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	70,000	70,000	—	
事業収益	108,300,000	108,653,000	△ 353,000	
受取補助金等	255,671,000	261,375,714	△ 5,704,714	
受取負担金	39,559,000	42,463,000	△ 2,904,000	
固定資産受贈益	588,000	588,000	—	
雑収益	981,000	981,000	—	
経常収益計	405,169,000	414,130,714	△ 8,961,714	
(2) 経常費用				
事業費	289,716,949	366,521,264	△ 76,804,315	
管理費	18,987,051	17,465,140	1,521,911	
経常費用計	308,704,000	383,986,404	△ 75,282,404	
(うち人件費)	39,876,000	38,943,000	933,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	96,465,000	30,144,310	66,320,690	
評価損益等計	—	—	—	
当期経常増減額	96,465,000	30,144,310	66,320,690	
当期一般正味財産増減額	96,465,000	30,144,310	66,320,690	
一般正味財産期首残高	△ 906,919,518	△ 922,042,252	15,122,734	
一般正味財産期末残高	△ 810,454,518	△ 891,897,942	81,443,424	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取補助金等	88,730,000	85,000,000	3,730,000	
一般正味財産への振替額	△ 52,178,000	△ 53,604,714	1,426,714	
当期指定正味財産増減額	36,552,000	31,395,286	5,156,714	
指定正味財産期首残高	1,657,191,400	1,638,340,345	18,851,055	
指定正味財産期末残高	1,693,743,400	1,669,735,631	24,007,769	
<b>III 正味財産期末残高</b>	883,288,882	777,837,689	105,451,193	

# 収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 3 年 4 月 1 日  
至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	-	-	70,000	-	70,000
事業収益	64,300,000	44,000,000	-	-	108,300,000
受取補助金等	174,765,000	62,223,000	18,683,000	-	255,671,000
受取負担金	39,543,000	15,000	1,000	-	39,559,000
固定資産受贈益	-	-	588,000	-	588,000
雑収益	-	980,000	1,000	-	981,000
経常収益計	278,608,000	107,218,000	19,343,000	-	405,169,000
(2) 経常費用					
事業費	232,888,516	56,828,433	-	-	289,716,949
管理費	-	-	18,987,051	-	18,987,051
経常費用計	232,888,516	56,828,433	18,987,051	-	308,704,000
(うち人件費)	34,395,000	3,979,000	1,502,000	-	39,876,000
評価損益等調整前当期経常増減額	45,719,484	50,389,567	355,949	-	96,465,000
評価損益等計	-	-	-	-	-
当期経常増減額	45,719,484	50,389,567	355,949	-	96,465,000
当期一般正味財産増減額	45,719,484	50,389,567	355,949	-	96,465,000
一般正味財産期首残高	△1,060,132, 166	176,715,438	△23,502,790	-	△906,919, 518
一般正味財産期末残高	△1,014,412, 682	227,105,005	△23,146,841	-	△810,454, 518
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取補助金等	88,730,000	-	-	-	88,730,000
一般正味財産への振替額	△39,157,000	△12,433,000	△ 588,000	-	△52,178,000
当期指定正味財産増減額	49,573,000	△12,433,000	△ 588,000	-	36,552,000
指定正味財産期首残高	1,603,782, 833	56,627,850	△ 3,219,283	-	1,657,191, 400
指定正味財産期末残高	1,653,355, 833	44,194,850	△ 3,807,283	-	1,693,743, 400
<b>III 正味財産期末残高</b>	638,943,151	271,299,855	△26,954,124	-	883,288,882

# 資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

## 1 資金調達の見込みについて

(単位 千円)

借 入 先	金 額	使 途
民間金融機関	39,000	施設・設備の長期保全計画策定、計 量器更新

## 2 設備投資の見込みについて

(単位 千円)

設備投資の内容	支出または 収入の予定額	資 金 調 達 方 法 または取得資金の使途
と畜解体に係る設備機器更新 一式	93,400	補助金

# 令和2年度事業報告

公益財団法人 滋賀食肉公社

## 1 事業概要

「近江牛」をはじめとする県内産食肉の流通拠点である「滋賀食肉センター（以下「センター」という。）」の設置および管理者として、安全安心な食肉を安定的に供給するため、HACCP（危害分析・重要管理点）方式による衛生管理を推進した。

一方で、と畜場使用料等の事業収益が低迷する中、光熱水料費等の経費節減を引き続き進めるなど、経営の健全化に向けた取組を進めた。

こうした取組と県からの支援の結果、昨年度に引き続き、単年度黒字（当期一般正味財産の増額）を達成した。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響やこれに関連する枝肉価格の不安定な動向などにより出荷頭数が伸び悩み、牛原皮処理に要する新たな経費が発生したことに加え、老朽化が進む施設・設備等に対応した緊急対応が増加していることなどから、資金繰りが悪化するなど厳しい経営状況が続いている。

また、センター施設使用に係る副生物処理・取引業務について、公募による処理業者選定を予定していたが、滋賀県副生物協同組合の提訴を受け、公募手続きを中断し、これに応訴・反訴するとともに、引き続き業務の適正化を図っている。

## 2 事業実績

### (1) 安全安心な食肉を提供する事業

#### ア 衛生管理を徹底したセンターの設置管理および運営

マニュアルに基づき日々の衛生管理体制を強化するとともに、管理運営会議や業務調整会議等の会議においてセンター構成機関が定期的な意見交換を行うなど業務改善に努め、HACCP方式に基づく衛生水準の一層の強化や業務の見直しを行うことができた。

また、施設の維持管理については、操業開始から10年以上が経過し、設備の老朽化が進み、更新時期が到来した機器が多く見られる中、優先度合いを計りつつ点検整備を実施し、適切な維持管理に努めるとともに計画的な設備更新を行った。

#### イ 普及啓発事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け各種イベントの開催が中止されたため、公共施設等での展示を中心に、センターの取組や食肉の安全についての啓発を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、センター施設見学の受け入れを停止している。

### (2) センターの経営健全化対策事業

前年度に引き続き、単年度黒字を計上したが、多額の累積債務を抱え、厳しい経営状況が続いている。牛のと畜頭数については、計画頭数には及ばなかったものの、前年度実績頭数を上回った。

こうした厳しい経営状況を改善すべく、経営の健全化と長期安定的なセンター運営の早期実現を図るため、平成29年3月に策定した第3次経営健全化計画に沿って、経常的な経費の節減や大規模太陽光発電事業の実施、閑散期におけると畜日削減の試行等、収支両面にわたる経営健全化対策を実施した。

#### 牛と畜頭数

計画	9,000頭
実績	8,737頭

# 正味財産増減計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	63,423	69,000	△ 5,577
事業収益	105,916,462	108,435,772	△ 2,519,310
受取補助金等	277,430,744	251,083,488	26,347,256
受取負担金	41,362,685	41,151,991	210,694
固定資産受贈益	588,300	588,300	-
雑収益	1,914,709	1,433,719	480,990
経常収益計	427,276,323	402,762,270	24,514,053
(2) 経常費用			
事業費用	399,042,493	369,427,427	29,615,066
管理費用	13,111,096	3,661,052	9,450,044
経常費用計	412,153,589	373,088,479	39,065,110
(うち人件費)	39,837,931	38,063,123	1,774,808
評価損益等調整前当期経常増減額	15,122,734	29,673,791	△ 14,551,057
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	15,122,734	29,673,791	△ 14,551,057
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	-	1	△ 1
経常外費用計	-	1	△ 1
当期経常外増減額	-	△ 1	1
当期一般正味財産増減額	15,122,734	29,673,790	△ 14,551,056
一般正味財産期首残高	△ 922,042,252	△ 951,716,042	29,673,790
一般正味財産期末残高	△ 906,919,518	△ 922,042,252	15,122,734
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	73,049,230	92,113,848	△ 19,064,618
一般正味財産への振替額	△ 54,198,175	△ 50,348,366	△ 3,849,809
当期指定正味財産増減額	18,851,055	41,765,482	△ 22,914,427
指定正味財産期首残高	1,638,340,345	1,596,574,863	41,765,482
指定正味財産期末残高	1,657,191,400	1,638,340,345	18,851,055
<b>III 正味財産期末残高</b>	750,271,882	716,298,093	33,973,789

# 正味財産増減計算書内訳表

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	-	-	63,423	-	63,423
事業収益	60,981,563	44,934,899	-	-	105,916,462
受取補助金等	185,211,764	72,746,746	19,472,234	-	277,430,744
受取負担金	41,339,481	22,394	810	-	41,362,685
固定資産受贈益	-	-	588,300	-	588,300
雑収益	1,101,872	800,600	12,237	-	1,914,709
経常収益計	288,634,680	118,504,639	20,137,004	-	427,276,323
(2) 経常費用					
事業費用	317,292,733	81,749,760	-	-	399,042,493
管理費用	-	-	13,111,096	-	13,111,096
経常費用計	317,292,733	81,749,760	13,111,096	-	412,153,589
(うち人件費)	34,496,139	3,880,379	1,461,413	-	39,837,931
評価損益等調整前当期経常増減額	△28,658,053	36,754,879	7,025,908	-	15,122,734
評価損益等計	-	-	-	-	-
当期経常増減額	△28,658,053	36,754,879	7,025,908	-	15,122,734
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	-	-	-	-	-
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	-	-	-	-	-
経常外費用計	-	-	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-	-	-
他会計振替額	17,034,439	△17,034,439	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△11,623,614	19,720,440	7,025,908	-	15,122,734
一般正味財産期首残高	△1,048,508,552	156,994,998	△30,528,698	-	△922,042,252
一般正味財産期末残高	△1,060,132,166	176,715,438	△23,502,790	-	△906,919,518
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取補助金等	64,857,144	7,075,434	1,116,652	-	73,049,230
一般正味財産への振替額	△32,304,554	△21,211,931	△ 681,690	-	△54,198,175
当期指定正味財産増減額	32,552,590	△14,136,497	434,962	-	18,851,055
指定正味財産期首残高	1,571,230,243	70,764,347	△ 3,654,245	-	1,638,340,345
指定正味財産期末残高	1,603,782,833	56,627,850	△ 3,219,283	-	1,657,191,400
<b>III 正味財産期末残高</b>	543,650,667	233,343,288	△26,722,073	-	750,271,882

# 貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	28,656,512	24,157,360	4,499,152
未収金	25,429,315	17,271,782	8,157,533
前払金	28,030	28,030	-
流動資産合計	54,113,857	41,457,172	12,656,685
2 固定資産			
(1) 基本財産			
土地建物	1,340,000,000	1,340,000,000	-
定期預金	5,101,375	5,689,675	△ 588,300
基本財産合計	57,500,000	57,500,000	-
(2) 特定資産			
建物付属設備	1,402,601,375	1,403,189,675	△ 588,300
機械・装置	55,008,408	37,532,312	17,476,096
工具・器具・備品	178,569,736	166,783,115	11,786,621
建設仮勘定	823,002	82,535	740,467
ソフトウェア	3,798,360	3,798,360	-
特定資産合計	16,390,519	26,954,348	△ 10,563,829
(3) その他固定資産	254,590,025	235,150,670	19,439,355
建物付属設備	782,891,705	830,018,733	△ 47,127,028
構築物	22,866,921	58,436,161	△ 35,569,240
機械・装置	37,704,403	41,413,022	△ 3,708,619
車両運搬具	11,642,706	16,158,731	△ 4,516,025
工具・器具・備品	64,683	129,749	△ 65,066
出資金	359,969	663,522	△ 303,553
長期未収金	10,000	10,000	-
その他固定資産合計	116,113,250	126,313,250	△ 10,200,000
固定資産合計	971,653,637	1,073,143,168	△ 101,489,531
資産合計	2,628,845,037	2,711,483,513	△ 82,638,476
資産合計	2,682,958,894	2,752,940,685	△ 69,981,791
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払負債	8,267,782	33,830,215	△ 25,562,433
前受り金	46,780	46,780	-
短期借入金	1,265,236	638,795	626,441
未払消費税等	56,000,000	-	56,000,000
賞与引当金	2,036,200	2,915,900	△ 879,700
流動負債合計	2,507,878	2,300,318	207,560
2 固定負債	70,123,876	39,732,008	30,391,868
長期借入金	1,851,481,804	1,985,829,252	△ 134,347,448
受入保証金	11,081,332	11,081,332	-
固定負債合計	1,862,563,136	1,996,910,584	△ 134,347,448
負債合計	1,932,687,012	2,036,642,592	△ 103,955,580
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	57,500,000	57,500,000	-
寄付土地建物	1,340,000,000	1,340,000,000	-
補助金	5,101,375	5,689,675	△ 588,300
指定正味財産合計	254,590,025	235,150,670	19,439,355
(うち基本財産への充当額)	1,657,191,400	1,638,340,345	18,851,055
(うち特定資産への充当額)	(1,402,601,375)	(1,403,189,675)	(△ 588,300)
2 一般正味財産	(254,590,025)	(235,150,670)	(19,439,355)
正味財産合計	△ 906,919,518	△ 922,042,252	15,122,734
負債及び正味財産合計	750,271,882	716,298,093	33,973,789
負債及び正味財産合計	2,682,958,894	2,752,940,685	△ 69,981,791